

スキップ

No.26

2012年3月8日

J R 東海労働組合

春の闘いシリーズ③

ユニオン役員から「自分の身は自分で守れ」と言われたことはありませんか？

かつて組合費は「保険みたいなもの」と言ったJ R 東海ユニオン組合員の方がいました。しかし、「保険金」を払っていざ災難が降り注げば「自分の身は自分で守れ」では何のための組合費＝保険でしょうか？入社したての方で、約4,000円の組合費を支払うと年間4万8千円、それが40年以上続くと何と200万円以上（基本給の上昇との関係でそれが約300万円）の意味のない金をJ R 東海ユニオンに支払うことになります。保証のない掛け捨ての保険に入る人は、世の中いませんよね。

昨年J R 東海労に加入した若手Mさんは、J R 東海ユニオン役員から「自分の身は自分で守れ」「我慢してくれ」と言われ、何のために組合費を払い続けてきたのか疑問を持ちました。

組合費の安いか高いかは、何のために使われるかで決まります。もはや今のJ R 東海ユニオンでは会社から身を守るための「保険」にも値しないのではないのでしょうか？

J R 東海ユニオン組合員の皆さん！人間は一人では生きていけません。ましてや会社が大きければ大きいほど、会社にそぐわない行為（ミス）をすれば粗末に扱われ排除されます。相談にも乗ってもらえず、会社と同じことを言われたその瞬間から、労働組合の存在価値はありません！

一体何のための組合費？

皆さん、JR東海労HPを見ましょう！

J R 東海労

検索

